

Kami Town Council News No.84

かみ議会

だより

令和7年12月定例会号



今月のトピック

- 第3次香美町総合計画を可決！
町民生活支援の予算を可決！

香美町議会の情報はこちら
[香美町議会の情報はこちら](#)



本年も町政の発展のため尽力します

町民の皆様には、日頃から議会運営に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

紙上をもって皆様にご挨拶申し上げます。

※あいさつは議席順です。

日頃より町民の皆さまには、議会運営並びに議会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本年におきましても、町の将来を見据えた建設的な議論を重ね、住みよい地域の実現に向けて、議会としての役割を着実に果たして参ります。町民の皆さまの声を丁寧に受け止めながら、より開かれた議会運営に努めてまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。



よしかわ やすはる
吉川 康治 議長

年頭にあたり心を新たにすることは、「志は氣の帥なり」孟子の言葉で、人は志がなければ、何も成し遂げることはできないとの教えです。志こそが意気軒昂の土台です。「みんなで幸せを実感できるまちづくり」の志をもって取り組んでまいります。

● 小さな声を届けます
をモットーに魅力あふれるまちづくりの為、香住区・村岡区・小代区を全力で走り続けて参ります。



むらた ゆきのぶ
村田 行信 議員



ひがしがき のり お
東垣 典雄 副議長

本年は、第3次総合計画がいよいよ実行フェーズに入る重要な一年です。計画が掲げられるだけで終わるのではなく、実際の行政運営の中でどのように使われ、変化が生まれているのか。私は、そうした点を町民の見える形で共有する立場として、町政に向き合っていくと考えています。



なかむら たかし
中村 崇志 議員



やまね のりあき
山根 典明 議員

新しい年も、長靴と現場感覚を忘れず、香美町の暮らしの中に答えを探します。子育てや観光、一次産業の声を力に変え、議論は熱く丁寧に、判断は冷静かつ正確に。町民と心から笑い、悩み、前に進む一年になります。さらに、議会改革にも挑みます。

【共感と実行 躍動する香美町に】

決意を新たにしています。



やまもと けんじ
山本 賢司 議員

これまでの30年は新しい挑戦を重ねてきた年月でしたが、昨年はその数年分を凝縮したような、大きな挑戦の一年となりました。議員としての活動にも、やりがいや楽しさを感じています。今年はさらに視野を広げ、成長を重ねながら町の未来に向き合う一年にしていきます。



わきさか えいさく
脇坂 英作 議員

昨年は、物価高騰の一年でした。
町民さんが安心して暮らせる町をめざします。子育て支援・医療・福祉の充実・観光産業の発展などに努めます。益々高齢化と人口減少は、進みます。町民皆様の意見を聞き住みやすい香美町を目指します。



もりうら
森浦 繁議員

新しい年を迎えて、改めて「町民が主人公」の立場で「町民のいのちとくらし第一」を貫く決意を申し上げます。
「若者が輝き、子どもが元気には育ち、高齢者障がい者にやさしい、産業が元気な」香美町をめざし、全力を尽します。この一年、よろしくお願ひ申し上げます。



たにぐち
谷口 真治議員

昨年は、議員活動一年目でした。
大変多くのご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
議員としての活動を通じて新たに見えてきた課題や、改めて実感した町への想いを胸に、本年も「未来のまちの当事者」として、よりよい香美町の実現に向け、着実に歩みを進めてまいります。



いとう
伊藤 敦紀議員

今年の干支である午年は活気が生まれやすく挑戦や変化が起りやすい年ともいわれます。新たな目標である香美町第3次総合計画で謳う、まちの将来像「みんながいきいき、笑顔あふれるまち 香美町」を目指して、新たな議会づくりと新たなまちづくりに精進してまいります。



たの
田野 公大議員

人生は長く生きようと思つても思い通りにはいかない。しかし、やめようと思えばその場でやめられる。長く生きるにはと尋ねると、今楽しい事はありますか？あるなら長く生きられます。と笑顔で答えてくれた。人生は楽しい事があれば続けられるんだ。本年も皆様と共に頑張ります。



にしだに
西谷 尚議員

○みんなが健康で、しあわせのために!!
○快適で、安心・安全のために!!
○地域社会の活力ある
発展のために!!
「みんながいきいき、笑顔あふれる香美町」
をを目指し、懸命に努力します。



みづか
見塚 修議員

今年は午年です。
午「うま」は太陽が最も高く上る時刻を表し、活力、情熱、行動力、の象徴です。私は颯爽に滑走する4歳馬のように、前を向いてしっかりと生き生きと子どもたちの成長と輝かしい未来を切り開くため、全力疾走で邁進することを「初心」の誓いと致します。



ふじい
藤井 昌彦議員

町民のみなさんから多くの意見や課題をいただき、町政に反映できるよう活動を重ねています。暮らし・仕事・地域コミュニティ・防災・教育・子育て等、すべてがまちをつくる根幹です。今の課題と未来への政策を分けることなく持続可能で幸せなまちを目指し今後も活動して参ります。



まつおか
松岡 大悟議員

『善政は民の財を得、善教は民の心を得。』成果を挙げるよう善政よりも、善教の方が人民の支持を得る。善政を敷けば、人民は畏れ敬うだろうが、善教を広めれば人民を愛するようになる。
という孟子の言葉です。
皆様が幸多き年であることをご祈念いたします。



にしかわ
西川 誠一議員



の改善を検討する。

- ・議員意見と町民意見の取扱いの在り方を検討する。

まとめ

今回の総合計画に関する質疑・答弁では、「今後検討」「補強」「毎年見直し」といった表現に象徴されるように、運用段階での調整を前提とした対応が中心となっていました。現時点で数値目標や制度内容を直ちに固定するのではなく、PDCAサイクルによる柔軟な運用を重視する姿勢が示されています。

一方で、具体的な数値目標や期限については明確に示されておらず、詳細は今後の補足説明や運用段階に委ねられている状況です。

【議会ヒント】

具体的な数値や期限については、今後の運用の中で明らかにしていく必要があり、議会としても引き続き確認していくま

報告

12月定例会において委任専決処分をしたものの報告がされました。

【委任専決処分をしたものの報告】

○報告内容：森区集会所整備工事の請負変更契約の締結

○契約相手：株本・西岡特別共同企業体

《契約内容の変更点》

	契約日	契約額	完成工期	変更内容
当初	令和7年6月24日	169,950,000円	令和8年3月13日	――
今回	令和7年10月1日	175,474,200円 (※5,524,200円増額)	令和8年3月13日	・土工事・埋戻し内容変更 ・杭工事・基礎杭・数量変更

※委任先決とは…議会が町長に預けた権限によって決定されたものです。

補正予算

12月定例会において、人事院勧告への対応などを盛り込んだ各会計の補正予算を、すべて原案どおり可決しました。

◆一般会計補正予算 (第5号)

◆後期高齢者医療保険 事業特別会計補正予算 (第1号)

◆国民健康保険事業 特別会計補正予算 (第3号)

全員賛成で可決

質疑

討論

◆介護保険事業 特別会計補正予算 (第2号)

全員賛成で可決

問 県単独干ばつ応急対策支援事業補助金について、対象となった地域はどこか。

答 農林水産課 本年度の少雨に伴う応急対応として、町内の8地区から申請を受け、ポンプ等の購入に対して補助を行いました。実施場所は、ほぼ小代区であり、一部に香住区の地域も含まれています。

◆公立香住病院事業 企業会計補正予算 (第2号)

全員賛成で可決

問 起業・創業支援事業 補助金の増額について、この補助金が適用される業種と件数を伺う。

答 観光商工課 すでに2件の支援を行っていますが、新たに3件の申請が見込まれており、内装工事業や美容業、その他サービス業が対象となつ

◆水道事業 企業会計補正予算 (第3号)

全員賛成で可決

問 下水道事業 企業会計補正予算 (第2号)

全員賛成で可決

賛成多数で可決

全員賛成で可決



追加議案

町民生活支援の 予算を可決

町民一人当たり2万円の商品券の配布、
また児童一人当たり2万円の応援手当の
支給について可決されました。

一般会計補正予算 (第6号)

◆物価高騰対策応援券 配布事業

事業の目的 物価高騰対策として、 町内事業所で利用可能な 商品券を配布し、活用し ていただることで、町民 の生活を支援する。また、 商品券を町内で利用いた だすことにより、町内経 済を循環させ事業者の經 営安定を図る。

国の交付金、前回使わな
かつた分、一般財源で耐
えられるかを時間をかけ
て協議した。第一義は物
価高対策であり、スピー
ド感を重視して、2万円
と判断した。

討論

賛成討論 谷口 真治 議員

本補正予算は、町民1
人当たり2万円の商品券
配布と、高校生年代まで
の子どもへの支援を柱と
するものであり、長期化
する物価高の中、町民
の暮らしを守るために強
く求められていた対策で
ある。また、地域経済への
波及効果も大きく、町
内事業者の支援につなが
る点でも高く評価できる。
今後も物価高の影響が続
くことを踏まえ、来年度

問 町民一人当たりの商
品券が今回2万円となっ
ているが、この2万円と
した理由について問う。

答 町長 財政課長とも
財政状況を勘案しながら、

くことを踏まえ、来年度

以降においても継続的な
物価対策を講じるととも
に、町民負担が増すよう
な税や公共料金の引き上
げは行わないよう求め、
本議案に賛成する。

全員賛成で可決

◆物価高対応子育て応援 手当支給事業

1. 物価高対応子育て応
援手当支給事業費
対象児童
 $18000 \text{人} \times 2 \text{万円} = 36000 \text{万円}$

2. 物価高対応子育て 応援手当事務費

郵便料、公金取扱手数
料など41万円

全員賛成で可決



請負契約

地域活性センター整備工事の 請負契約を締結することについて

地域活性センターは、小代物産館の老朽化に伴い、既存施設を解体し、同じ場所に交流促進を目的とした新たな施設として建て替えを行なうものです。

契約の目的 地域活性センター整備

問 冬季における高齢者 利用経路(スロープ)の 安全性や、出入口付近の 屋根からの落雪対策は。

問 会議室の出入口は1 か所となっているが、出 入口付近で火災が発生し た場合、高齢者や障害者 にとつて安心・安全な避 難経路が確保されている のか。

答 小代地域局 スロープ はほぼ平坦な構造として おり、積雪時には職員が 除雪を行います。

答 小代地域局 屋根に雪止めを設置し、 また、落雪対策として 安全確保を図ります。

答 小代地域局 入口付近で火災が発生し た場合、高齢者や障害者 にとつて安心・安全な避 難経路が確保されている のか。

問 冬季における高齢者 利用経路(スロープ)の 安全性や、出入口付近の 屋根からの落雪対策は。

問 会議室の出入口は1 か所となっているが、出 入口付近で火災が発生し た場合、高齢者や障害者 にとつて安心・安全な避 難経路が確保されている のか。

答 小代地域局 スロープ はほぼ平坦な構造として おり、積雪時には職員が 除雪を行います。

答 小代地域局 屋根に雪止めを設置し、 また、落雪対策として 安全確保を図ります。

問 小代物産館の中に あつた県民交流広場は、 今後どうなるのか。

答 小代地域局 県民交流 広場については、県と協 議を行い、現在の形での 設置を終了することにつ いて了承を得ています。

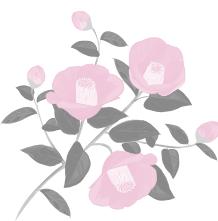
そのうえで、県民交流 広場の利用団体から、引 き続き交流の場を設けて ほしいとの要望があつた ことから、会議室を整備 しています。

問 常駐する職員は、施 設管理だけを担うのか、 それとも交流事業を生み 出す拠点的な役割を担う のか。

答 小代地域局 町直當で の管理ということで考 えており、職員は2名の配 置を要望しています。

答 小代地域局 職員には建物の管理だ けでなく、地域交流の促 進を目的として、イベン トなどの仕掛けづくりを 考えてもらうことも想定

しています。



全員賛成で可決

この度、JRローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援措置を求める意見書を議員全員で提出・可決し、国に提出しました。

意見書第2号

JRローカル線の維持に向けた国の積極的関与と支援措置を求める意見書

JR各社が担う全国的な鉄道ネットワークは、国民に対するユニバーサルサービスとしての役割を果たすものであり、各社の経営状況に左右されることなく、全国で公平かつ安定的に確保されるべき極めて重要な交通インフラである。

しかしながら、近年の人口減少や少子高齢化、地方の過疎化など社会情勢の変化により、特に利用の少ないローカル線において、維持と持続可能性の両立が大きな課題となっている。このため国においては、令和5年に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正され、鉄道再構築の議論を行うための新たな枠組みが整備されたところである。

ただし鉄道のあり方は、採算性のみで判断されるべきものではなく、地方創生や国土の均衡ある発展、広域交通ネットワークの維持といった観点から総合的に検討される必要がある。

兵庫県内のローカル線は、地域住民の生活を支える「日常の足」として重要であり、とりわけ美方郡香美町における山陰本線は、将来を担う多くの学生の通学手段として不可欠な存在である。また、観光地・香美町を訪れる国内外の観光客にとっても、地域の玄関口としての役割を果たしており、鉄道の廃止や減便は地域活力の低下に直結することが懸念される。さらに、再構築議論を通じて、鉄道事業者から沿線自治体への負担転嫁が進むことで、地方の財政負担が増大し、地域間格差が一層広がるおそれもある。

あわせて、本町に所在する香住駅を含む山陰本線の一部区間では、いまだICOCA等のIC乗車券に対応していない現状があり、地域住民や観光客から早期導入を求める声が強く寄せられている。移動の利便性確保や地域間の格差解消、さらには利用促進の観点からも、国による支援と積極的な関与は不可欠である。

地方創生を実現し、災害に強い鉄道ネットワークを将来世代に継承していくことは国の責務であり、鉄道のあり方を自治体や鉄道事業者に委ねるのではなく、国が主体的かつ責任を持って取り組むべき課題である。

については、JRローカル線の維持に向け、国による積極的な関与と必要な支援措置について、下記の事項に関し特段の対応を講じられるよう強く要望する。

記

1 国民に対しユニバーサルサービスとして提供すべき社会基盤である鉄道ネットワークのあるべき姿を明確に示すこと。その上で、利用が少なくとも国土の均衡ある発展に不可欠な路線については、JR各社の経営状況に問わらず、国の責務として維持すること。

2 JRローカル線について、安易な減便を行わないよう指導するとともに、ICOCA等のIC乗車券対応の促進を含むキャッシュレス化の推進、駅設備の改良など、利用者利便の向上に向けた取り組みを支援すること。さらに、これらの取組を通じて利用促進や地方創生が進むよう、国による財政的・技術的支援制度を創設すること。

3 経営効率化や災害等を契機として、鉄道事業者側の一方的な事情により安易に存廃や再構築の議論が進むことのないよう、沿線自治体の意向を十分に尊重しつつ制度を運用することを、国の責任においてJR各社に対し厳格に指導すること。

議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

議案番号	議案名	村田 行信	山根 典明	中村 崇志	脇坂 英作	山本 賢司	谷口 眞治	森浦 繁	田野 公大	伊藤 敦紀	見塚 修	西谷 尚	松岡 大悟	東垣 典雄	藤井 昌彦	西川 誠一	吉川 康治
93	第3次香美町総合計画を策定することについて					X	X										—
98	香美町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を定めることについて					X	X	X									—
99	香美町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例を定めることについて					X	X	X									—
100	香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて					X	X	X									—
101	香美町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて					X	X	X									—
106	香美町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例を定めることについて					X	X	X									—
109	令和7年度香美町一般会計補正予算（第3号）					X	X	X									—

空白…賛成、×…反対、欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので「—」で表示しています。

■ 請負契約 ■

●山田体育館・旧山田子育て 子育ち支援センター解体撤去工事

- ・契約の方法：制限付一般競争入札
- ・契約の金額：88,341,000 円
- ・契約の相手方：有限会社 北村工務店
(代表取締役 北村秀二)

質疑

問 山田体育館は指定避難所になって
いるが？

答 村岡地域局 地元の同意を受けたうえ
での解体撤去工事です。

●塵芥収集車の購入契約

- ・契約の方法：指名競争入札
- ・契約の金額：11,290,038 円
- ・契約の相手方：有限会社 タムラモータース
(代表取締役 田村和也)



山田体育館解体前 ※2025年12月24日撮影

■ 損害賠償 ■

医療事故の損害賠償の額を決定

- ・事故発生年月日：令和7年10月16日
- ・事故発生場所：川会歯科診療所
- ・相手方：香美町内男性

- ・損害賠償額：42,670 円

- ・事故の概要：川会歯科診療所において歯科の診療の際、誤って患者の口腔内に充填物を落とさせ患者が誤飲した。

町政を問う！

一般質問

// その他こんな質問もしました //

質問議員	質問項目	質問議員	質問項目
東垣 典雄	獣害対策について問う。	山本 賢司	町過疎地域持続的発展計画は、財源がないからできないとならないか。 “介護の社会化”から“介護の家庭化”では現役世代も大変になる！
見塚 修	いのちとくらしを守り、住んでよかったと思えるまちづくりを求めて(Part3) (いのちとくらしを守る) 令和8年度予算編成に臨む各施策について伺う。	山根 典明	防災無線の再検討 健康寿命の延伸を目指した肺炎予防について
藤井 昌彦	物価高騰対策について	脇坂 英作	地域農業の未来を支える農地・資産の見える化について
村田 行信	デジタル田園都市国家構想の記載と、行政実務(紙ベース)との整合性について 町長が示された未来像と、第三次総合計画の整合性・活用方針について	森浦 繁	クマの出没・被害対策について問う。 市民・観光客の交通利便の向上と観光誘客について問う。 海外への修学旅行実現の取り組みと旅費高騰対策について問う。
中村 崇志	不法投棄の現状把握・対策について問う。 香住区小学校一次・二次再編に伴う、「体験的な「ふるさと教育」の推進」への影響について問う。	谷口 真治	「非核3原則」見直しの検討について問う。 子育て支援のさらなる拡充について問う。 香住区小学校等第2次再編について問う。
山本 賢司	第3次町総合計画は何も変えない。町長の決意表明か。		



スマート農業ドローンによる薬剤散布



ひがしがき のり お
東垣 典雄 議員

2025年農林業センサスで自営農業を主な仕事とする「基幹的農業従事者」は前回2020年調査と比べ全国で25.1%減少

基幹的農業従事者27%減少、農地の荒廃が!! 荒廃農地化が進まないよう取り組みます



町長 本町の「基幹的農業従事者」は2020年531人から2025年389人へと27%減少しています。

農地の集約は經營耕地面積2020年の481haから420haの13%の減少にとどまっています。

「基幹的農業従事者」は

このこと。本町の現状は、減少し耕作面積の減少が少ないのは担い手への農地の集約がすすんだ結果です。
耕作条件のいい農地の集約はすすみますが中山間の農地は担い手がなく稻作をしていない集落があるのが現状である。
中山間地の農地についても農地中間管理機構(農地バンク)の活用での集約と「中山間地域直接支払」など制度の活用を。
町長 その地域の農地の活用について今の制度の仕組みのなかでは集落ごとの意欲が大きく影響します。集落での話し合による制度の活用で農地の荒廃がすすまないよう取り組みます。

町政を問う!

一般質問

12月定例会での一般質問は13人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方などを町長や教育長に問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。
(※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます。)

町政を問う!



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきてている。



まつおか 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりという側面もあると言われ、全國の自治体でも導入されている。今後香美町でも導入を考えているか。

価高騰・応援券など、地域限定で利用できる商品券をデジタル化することで、支給するまでのスピード化や事業所のみなさんの換金作業簡略化が図れるなど、事務の軽減化、更には紙に比べ発送や印刷費など管理費用削減にもつながるなど様々な活用が考えられます。次の段階とし

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。



香美町ホームページ(総合計画QR)

第3次総合計画について、町長自身の目指すものが網羅されている形で示された。
第2次総合計画で示さ



むらた ゆきのぶ 村田 行信 議員

れた目標は達成されていないというふうに実際に数字で示されてしまつているですから、何かを変えないといけない。

各課、各分野で基本方針が6つある中、主要施策もそれに伴つて町のありとあらゆる分野がある。私はこれから先、来年の予算から何かしらチャレンジが

起きるものと信じているが、これは信じて大丈夫なものなのかを改めて問う。町長 向こう10年間の総合計画を、実行、イメージしているとおりに進捗するような努力は惜しまないつもりでいます。

ただ、それが明確に計画に沿つてできるのかと言いますと、これはまだ不確定

でありますけれども、役員と一緒に一丸となつて全力で取り組んでいくことはお約束をさせていただきたいたいと思います。

第3次総合計画に沿つて動き出す町政の行方はイメージどおりに進捗させる努力は惜しまない



はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきてている。



まつおか 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきてている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきてている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきてている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきてている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきてている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきていている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきていている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



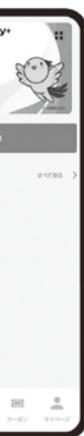
単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきていている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきていている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきていている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきていている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきていている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきていている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

う側面もあると言われ、全國の自治体でも導入され

てこれらの仕組みづくりは、職員と今後一生懸命になつて考えていくたいですし、町民のみなさんへの普及にも努めていきたいです。

はばタン
Pay+

© 兵庫県 2007



兵庫県プレミアム付きデジタル商品券「はばタンPAY+」

スマホやデジタル決済などの普及により、紙の地域通貨・商品券と比べて導入維持コストや運用ハーダルが下がってきていている。



まつおかげ 大悟 議員

デジタル地域通貨の活用を推進すべき

今後一生懸命になつて普及に努めていきます



単なる「お買い物の手段」ではなく、地域経済の循環・地域活性化・住民参加・コミュニケーションづくりとい

一般質問



いのちと健康をまもるために



香美町観光振興計画 当初日ヨ

今後の香美町「観光振興」について問う

町民皆様のご提案は、前向きに協力します



なかむら たかし
中村 崇志 議員

いるかについて伺う。

人口減少・地域疲弊が進む中、観光業は本町を支える基幹産業である。

行政の3者が役割を理解し、観光客のニーズを的確に捉えながら目標設定し、観光振興に取り組んでいくかについて伺う。

いるものと考えておりま
す。

③役割を理解していると思いますが、役割分担や責任所在を不明瞭にしている部分もあります。観光関係の皆様と話し合いを進めて参ります。

が、地域経済の波及効果までは課題があり仕組化できていません。



八鹿病院の人勧実施に支援を

病院組合の権限、だが思いに



やまもと けんし
山本 賢司 議員

勧実施は12月補正で予算化できないとしている。

それが住民のいのちと健康を守る町の使命を果たすことになる。

病院です。ただ、人勧実施は組合が自ら決めることです。



病院は、医師、看護師は足りない、赤字だ、新たなものプランをつくれ、と苦労している。八鹿病院組合は、財源がないから、今年の人

町立香住病院には、繰出金を増額して人勧実施を行う。八鹿病院組合の構成市町で財源支援を行い、人勧実施を支援することで、病院を守るべきだ。それこ

町長　人件費の増加と物価高により、公立病院の経営は厳しくなっています。国の対応も良い対応は見えません。二市町で構成する公立八鹿病院は、町立香住病院とは性質は違いますが、どちらも大切に

月一回、病院組合の構成市町長会があり、病院の状況を伺い、意見を求められます。人手不足の中、他の団体に移つてもいいのか、言っています。

町政を問う!

乳がん検診：マンモグラフィー検診とエコー検診の違い

マンモグラフィー
(X線検査)
微細な石灰化を発見
40歳以上に推奨

乳腺エコー
(超音波検査)
乳腺が発達していても確認可能
年齢を問わず受診可能

両方の検診を組み合わせることで、
より精度の高い診断が可能です。

子宮頸がん検診の重要性・検診が必要な理由

日本女性のがん死亡原因の上位
20代から定期検診を推奨
早期発見で高い治癒率
HPVワクチンも有効な予防策定
定期的な検診により、子宮頸がんの予防・早期発見につながります。
あなたの健康を守るために、定期的に検診を受けましょう。

気になる前に、定期的な検診を受けましょう



火災報知器

十年以上経つた火災報知器諸費用半額補助に 新たな補助制度の創設の予定はしていません

女性の検診 体調に配慮した日程設定を検討します

女性の検診 体調に配慮した日程設定を検討します



わきさか えいさく
脇坂 英作 議員

町長 香住区の検診
日程については、これまで
連日で実施しております
たが、来年度からは、上旬・
中旬・下旬というように日
程をばらけさせ、女性の体
調にも配慮した受診しや
すい日程設定となるよう
検討していくないと考
えています。

子宮頸がんは、20歳か
ら30歳代での発症増加が
指摘されており、若年層で
の早期発見の重要性が高
まっている。

今後、受診しやすい環境
づくりや周知の方法の改
善など、受診率向上に向け
た取組の充実が求められ
ると考える。

以上を踏まえ、日程の設
定や周知の方法、受診機会
の確保など、受診しやす
い日程設定となるよう
環境づくりの観点から、今
後どのような改善策を検
討しているのかを伺う。

また、香住区以外の村岡

本年11月九州大分での
火災 香港タワーマンションの
火災で多くの住宅火
災と大勢(159名)の尊
い命が犠牲となる。

消防法において200
6年より新築住宅の警報
器の設置基準は義務付け。
2011年以降全市町村
で設置が義務付け。その後
10年以上たった今電池取
替費用等を町で補助出来
ないか伺う。(和歌山県新
宮市で65歳以上・市税完納
されている方を対象に5
000円を上限で半額補

助しているが。)
町長 2011年から
全ての住宅の寝室や寝室
が有る階の階段室の設置
が義務付けられており令
和7年6月現在の管内の
設置率は83%で多くの家
庭が電池寿命を迎えてお
り①機器の設置②点検の
周知など引き続き美方広
域消防本部と連携して取

新宮市の事例に関して
はたくさんある自治体の
うちの一つであり、香美町
もというわけにはいきま
せん。



乳がん検診：マンモグラフィー検診とエコー検診の違い

マンモグラフィー (X線検査) 微細な石灰化を発見 40歳以上に推奨	乳腺エコー (超音波検査) 乳腺が発達していても確認可能 年齢を問わず受診可能
---	--

両方の検診を組み合わせることで、
より精度の高い診断が可能です。

子宮頸がん検診の重要性・検診が必要な理由

日本女性のがん死亡原因の上位
20代から定期検診を推奨
早期発見で高い治癒率
HPVワクチンも有効な予防策定
定期的な検診により、子宮頸がんの予防・早期発見につながります。
あなたの健康を守るために、定期的に検診を受けましょう。

女性の検診 体調に配慮した日程設定を検討します

やまね のりあき
山根 典明 議員

消防法において200
6年より新築住宅の警報
器の設置基準は義務付け。
2011年以降全市町村
で設置が義務付け。その後
10年以上たった今電池取
替費用等を町で補助出来
ないか伺う。(和歌山県新
宮市で65歳以上・市税完納
されている方を対象に5
000円を上限で半額補

助しているが。)
町長 2011年から
全ての住宅の寝室や寝室
が有る階の階段室の設置
が義務付けられており令
和7年6月現在の管内の
設置率は83%で多くの家
庭が電池寿命を迎えてお
り①機器の設置②点検の
周知など引き続き美方広
域消防本部と連携して取

新宮市の事例に関して
はたくさんある自治体の
うちの一つであり、香美町
もというわけにはいきま
せん。

一般質問



具体的な離職対策を



各集会所の維持

集会所等の修繕工事及び建て替え補助金は

集会所整備に関する制度変更は考えていません



もりゅうら
森浦 繁 議員

多くの集落で集会所等の修繕工事及び建て替え工事が必要な時期となっている。今の制度では、小集落では、一軒あたりの負

担が重くて、大変だということを聞いている。集会所は多くの集落で避難所として利用されている。防災対策として、集会所の維持のために補助金制度の抜本改善が必要でないかと

考えるが、町長の考え方を伺う。

町長 集会所の整備は新築改築の場合と改修

の場合で事業主体や地元

負担が異なります。

まず、新築の場合は、町が事業主体となり整備を行い、地元集落には基準面積に応じた事業費範囲内であれば、30%を負担頂き、改修の場合は、地元集落が事業主体となり、事業費の2分の1を町が補助します。戸数の少ない集落の場



合、この負担も大変になると考えます。各自治会で集会所に対する将来計画を検討いただき、必要となる資金の積立等、将来の負担に対応して頂きますようお願いします。

職場の在り方は離職に影響しているのか 職場の在り方が主因とは言えません



いとうあつき
伊藤 敦紀 議員

ど、職場の在り方が影響している可能性は否定できないと考える。職場の在り方が離職の背景にあるとの指摘について、町長はどう考えるか。

町長 離職は、家庭環境やキャリア観など、個々の事情による判断が大きいと考えています。職場環境が全く影響していない

ことは言いませんが、職場の在り方が離職の主因であるとは考えていません。

町として離職率の低減を目指す中、どのように対策を進めていくのか。離職の背景に存在しうる職場や業務の在り方を把握・検証する考えはあるのか。

町長 職員がやりがいを持って働く職場づくりが重要であり、そのことが結果として離職率の低減につながると考えています。人材育成や職場環境の改善に取り組み、働きやすい職場を目指しています。離職の背景にある要因の把握は優先事項として考えていません。

町政を問う!



あらゆる物価が高くなっています

あらゆる商品の物価高
が長期化している。10月
の消費者物価指数は前年
比0・4上昇、プラス上昇
は50カ月連続。物価高か



たにぐち しんじ
谷口 真治 議員

急需で商品券配布の実施を! 1人2万円分の商品券を配布します

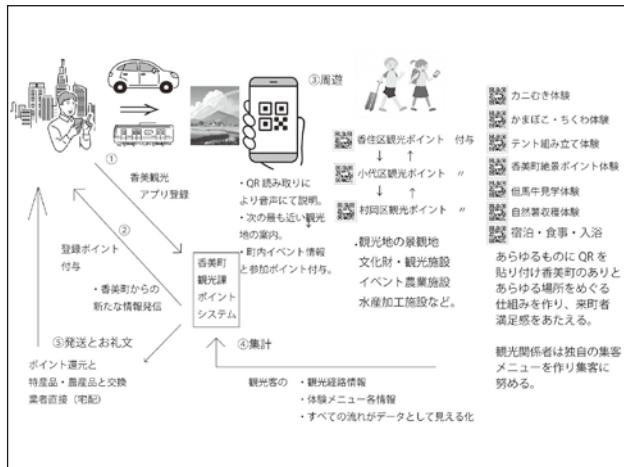


ら町民のくらしを守る物
価対策は急務である。しか
し、今補正予算(第5号)に
物価対策予算なし。国の物
価高対策は一時しのぎの
対策ばかり。物価高対策と
して効果が高い、国民が強
く望む消費税減税は国が
やる気なし。6月議会と9
月議会に続き、今議会でも
求めている町民一人当たり

り1万円分の商品券配布
を国の重点支援地方交付
金を活用して、急需で実施
するべきではないか。

町 長 国の物価高騰対
応重点支援地方創生臨時

を盛り込んだ令和7年度
補正予算を本定例会の追
加議案として提案させて
いただく予定にしていま
す。また、国の物価高騰対
策に基づく児童手当支給
対象児童を養育する保護
者に対して児童一人当たり
2万円の物価高応援手
当を支給する予算も追加
議案に盛り込んでいます。



携帯1台で観光がすべて完結



にしたに ひさし
西谷 尚 議員

将来の観光振興には観
光アプリ等のデジタル施
策が不可欠である。
観光DXの推進を強く
求める。観光ポイント制度

を活用し、観光地巡りや体
験・消費行動に応じてポイ
ントを付与することで、町
内回遊性や滞在時間の延
長・再訪促進につながると
提案した。導入コストや運
営体制の課題を認識しつ
つも、研究にとどまつてい
る。早期に第一歩を踏み出
すべきである。

町 長 観光アプリな
どデジタルツールの活用
は、情報発信の強化に加え、
データ分析やキヤッシュ
レス対応・人手不足対策な
どの面で有効であり、今後
ますます重要なとの
認識です。一方で、導入に
はシステム構築費や管理・
運営主体の整理が課題で
あり、費用対効果の検証が

不可欠です。
現時点での具体的な導入
予定はないですが、近隣自
治体の事例も参考にしな
がら、担当課で研究・検討
を進めていく考えです。

観光に新たなデジタルポイントを システム導入は検討中です



委員会視察 研修報告

地域防災拠点を住民の 防災意識啓発施設に

総務民生常任委員会 委員長 山本 賢司

委員会は、近々完成予定の町地域防災拠点の、今後のあり方、活用方法等について知見を得ることを目的に、鳥取県倉吉市防災センターで視察研修を行いました。



倉吉市防災センター



町地域防災拠点

県が備蓄するもの	市町村が備蓄するもの
・仮説トイレ (トイレカーラー含む)	・保存食、水など ・簡易トイレ
・ストーブ	・ウェットティッシュ ・粉乳、ミルク
・発電機	・歯磨きシート ・ボリタンク
・大型資機材	・ブルーシート ・哺乳瓶
・ガソリン携行缶	・ブルーシート張りセット ・生理用品 (UV土嚢、テープ、ロープ) ・紙おむつ
	・給水パック ・救急セット
	・トイレットペーパー ・タオル 等

県・市町村備蓄一覧



展示コーナー

○災害への備え展示
家庭での非常持ち出し
品、備蓄物資の展示コー

○県・市町の連携備蓄
県と市町村が連携、分担して備蓄（別項）している。市町村は人口比で数量を決めている、とのことでした。平成26年度にセンターは完成してお

り、平成28年10月の鳥取中部地震の時、ブルーシートの支援は役立ったが、止める資材が足りず、この時からセットにしようと改善された、とのことでした。

ナードが設けられており、非常食など現場で学べるなど、住民、特に子どもたちの研修が行われている、とのことでした。

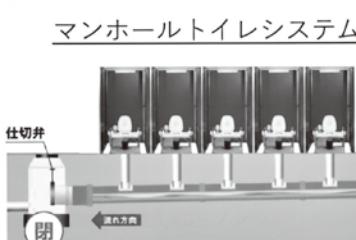
センターでは、2名の防災士資格を有する防災普及指導員を置いて、研修、啓発活動を行っており、地区防災リーダーの養成を行い、防災士資格



開発されたアプリケーション

○市独自にアプリ配信
災害時の情報伝達としては、本町と同様の防災行政無線設備が整備され、各家庭、外部スピーカーで知らせる。もう一つの手段として市独自もアプリ配信を開発し、市外にいても情報が得られる。とのことでした。このアプリ配信は、区、集落等での利用も可能であり、現在、利用拡大中とのことです。

の取得費用は全額市負担としている、とのことでナードが設けられており、非常食など現場で学べるなど、住民、特に子どもたちの研修が行われている、とのことでした。



マンホールトイレスистем

○トイレ問題の切り札
マンホールトイレス
指定避難所の既存マンホールを活用し、迅速にトイレス機能を確保することができる、下水道直結のため衛生的で、汲み取



防災普及指導員による説明



倉吉市防災センターにて

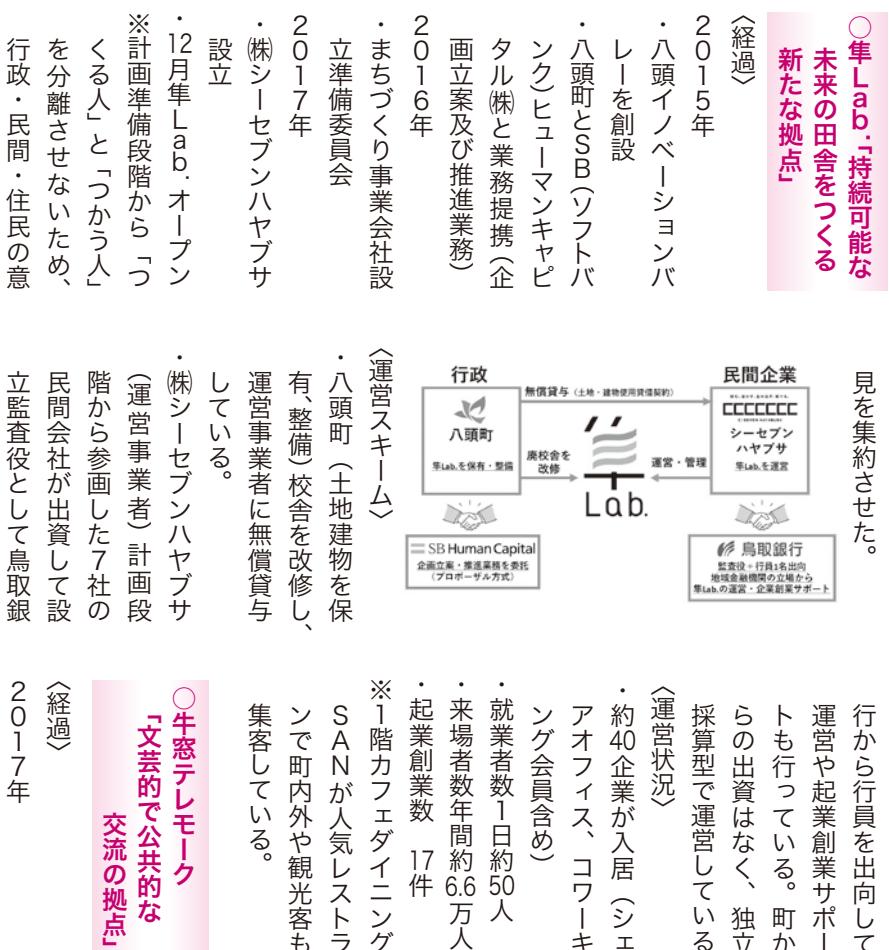
○提言
住民活用を
香美町にも地域防災拠点が整備されました。平常時機能として、子ども、住民などの研修、啓発、体験学習などの施設は必要ではないか、情報伝達は、音声だけでなく、文字等による方法も必要ではないか、と考えます。

りの手間が少ない、平時から実物を展示し、住民の理解を促進、廃校活用など避難所機能維持に有効な選択肢、とされてきました。

委員会視察 研修報告

官民連携による廃校等の 活用スキームを学ぶ

産業建設文教常任委員会 委員長 松岡 大悟



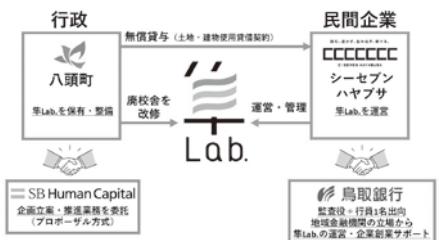
廃校（公共遊休不動産）の利活用は香美町でも喫緊の課題であり、先進事例に足を運び、官民連携スキームや民間プレイヤーの属性、また町外事業者との関わりを調査研究するため、鳥取県八頭町隼Lab.と岡山県瀬戸内市牛窓テレモークを視察研修しました。

○隼Lab・持続可能な
未来の田舎をつくる
新たな拠点

見を集約させた。

行から行員を出向して運営や起業創業サポートも行っている。町からの出資はなく、独立採算型で運営している。

- （運営状況）
- 約40企業が入居（シェアオフィス、コワーキング会員含め）
 - 就業者数1日約50人
 - 来場者数年間約6.6万人
 - 起業創業数 17件



- 2018年
- 公募型プロポーザルト、募集要項策定

- 2019年
- 株牛窓テレモークを運営事業者に選定

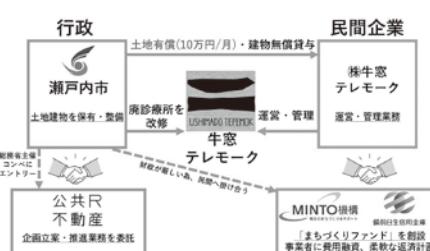
- （運営状況）
- 1階にカフェ・ケーキ屋・自然食品店・レストラン
 - 2階に撮影スタジオ・建築士事務所・美容院・アートギャラリー・自習室

- ※利活用について様々な意見がでたが、共通していたのはゆっくり時間を作ること。

- （運営状況）

- 先進事例から学ぶことも多いが、時には前例のない新しい形を見出して覚悟を決めてチャレンジすることも重要。

- 別館に音楽、映像スタジオ
- ※ライブ・映画上映・マジック等イベントを開催お祭りなど地域活動の場面でも利用されている。



牛窓テレモークにて

- ・市場型サウンディング
・調査を実施
・施設改修工事

（運営スキーム）

- ・瀬戸内市（土地建物を保有、整備）土地は有償、建物は無償で運営事業者は貸与している。

- ・地元民間プレイヤーと行政がつながるにはタイミングが必要。外部サポート事業者の選定も重要なポイント。

- ・官民連携に必要な役割は、行政+民間運営事業者+外部サポート事業者+金融機関。

（考観と提言）

- ・官民連携スキームや民間プレイヤーの属性、また町外事業者との関わりを調査研究するため、鳥取県八頭町隼Lab.と岡山県瀬戸内市牛窓テレモークを視察研修しました。

この人ここにあり

「日本で最も美しい村連合」に加盟する

香美町小代協議会

会長 中村 美和子 さん



今回は、「日本で最も美しい村連合小代」に加盟する香美町小代協議会長に就任した中村美和子さんにお話を伺いました。



小代区では、人口も減りお店や子どもの数も減っています。空き家も増加しました。

このままの状況が続くと、あと10年後の小代の姿を思い描くことが難しくなるのではないかと感じています。

次世代へ地域を引き継いでいくためにも少しで

◆日本で最も美しい村連合の5年に一度の現地審査は?

も動ける今のうちに行動し、一人ひとりが「自分にも何かができる」意識を持つてもらえたたらと思っています。



◆実際の活動は、今後はどういうに進めていきた
う願っています。

本年度末までに結果が
判明しますが、美しい小
代の魅力がさらに輝くよ
うました。

A photograph showing two men in a wooden-framed barn. One man, wearing a grey sweater, is pointing towards a group of cattle in a stall. The other man, wearing a dark shirt, is looking on. The barn has a rustic interior with wooden beams and straw on the floor.

あと空き家の利活用を進め、移住者を増やしたいです。住む場所の提供がスマーズだと移住のハードルが下がります。行政任せにせず、将来的には自分も関わることができればと思います。

また、今後の活動を進めていくためには、志を同じくする仲間の存在が

「未来カフェ」と題し、世代ごとに未来を語つてもらう場をつくり、その中で参加者の根底には「小代が好き」という思いを感じました。それを受け止めながら情報発信して、少しでも小代に興味を持つてもらえたたらと考えて、います。



◆香美町議会に一言
小代の暮らしや風景を
次の世代へつないでいく
ために、議員の皆さまと
も対話を重ねながら、一
歩ずつ前に進んでいきた
いと考えています。
今後ともどうぞよろし
くお願いいたします。

欠かせません。美しい小代の魅力を応援していくasarの方々とともに、樂しみながら地域を活性化していくことを考えてまいります。

編集後記

廣報公聽常任委員會

人口減少の進行、物価高騰や人手不足、国際情勢の不安定化など、日本社会は今までかつてない「変化の時代」に直面しています。国が云々する政策や制度も、全国一律ではなく、地域の実情に即した判断と選択がこれまで以上に求められています。こうした変化の時代において、町政や議会が町民の皆さんから遠い存在ではありません。議会で何が議論され、行政がどのような判断をしているのかをわかりやすく伝え、町民一人ひとりが町政を身近に感じられる環境を整えることが重要だと考えています。